

平成31年度 当初予算（案）

～東播磨県民局の重点取組～



2019年に築城400周年を迎える明石城（写真提供：（一社）明石観光協会）

【目 次】

1 基本方針	・・・・・	P 1
2 施策体系	・・・・・	P 1
3 重点取組	・・・・・	P 2

※追加実施予定の事業を含む

（参考資料）

参考1 東播磨地域ビジョン

参考2 安全・安心で元気な東播磨の社会基盤づくり

平成31年2月13日
東播磨県民局

平成31年度 東播磨県民局の重点取組

1 基本方針

豊かな水辺空間とものづくり産業が集まる地域特性を生かしながら、「東播磨地域ビジョン」が掲げる将来像を達成し地域創生を推進するための施策を展開して、一人ひとりの生活の質の向上とふるさと東播磨の元気の実現を図る。

2 施策体系

水辺・ものづくりのまちで生きる

[H31 予算額 149,765千円]

I 人・もの・情報が交流し、にぎわう東播磨づくり

〈87,288千円〉

<交流を促す基盤と拠点を整備し、多彩なネットワークを構築> [-]

- 明石港砂利揚げ場再開発の推進
- 国道2号（加古川市内）の4車線整備（加古川橋架替・一方通行解除）の推進
- 東播磨道北工区事業の推進

<人・もの・情報が交流し、魅力とにぎわいを創出> [54,453千円]

- 明石城築城400周年記念事業の推進
- 東播磨魅力再発見による交流の促進〔新規・拡充〕
- 高砂みなとまちづくり・堀川周辺地区の活性化支援

<豊かな農林水産業と食文化を展開> [13,280千円]

- 東播磨「農」のブランド化大作戦の推進〔拡充〕
- 交流・体験を活かした「人」と「農」の共創力アップ事業〔新規〕
- 都市農業元気アップ事業〔新規〕

<ものづくりの新展開と産業の活性化> [4,250千円]

- 東播磨ものづくり企業の魅力発信事業
- 東播磨地域への就職促進〔拡充〕

<ふるさと意識の醸成> [15,305千円]

- 東はりまの魅力KIDS体験ツアーの実施〔拡充〕
- 地域でキラリ☆走る環境学習教室の開催〔拡充〕
- インフラ施設等の周遊型イベントの開催〔新規〕

II 水辺との心豊かな暮らしが思い出に残る東播磨づくり

〈37,278千円〉

<いなみ野ため池ミュージアムの推進> [34,179千円]

- 新たな地域づくりシステムの構築〔新規・拡充〕
- ため池コウノトリプロジェクトの推進〔新規・拡充〕

<人と自然が共生し、生態系を保全> [3,099千円]

- 地域でキラリ☆走る環境学習教室の開催〔拡充〕（再掲）
- 東播磨地域・野生鳥獣被害対策の推進

III いきいきと暮らせる、安全安心な東播磨づくり

〈25,199千円〉

<健康づくりの推進と障害者の自立支援> [11,379千円]

- みんなでつくって食べよう「東はりま発ヘルシーメニュー」の普及促進
- チャレンジショップ「きずな」の販売力強化による障害者の自立支援

<地域防災力の向上> [10,643千円]

- ジュニア・地域防災スクールの開催
- ため池を活用した防災機能の向上

※追加実施予定の事業を含む

3 重点取組

I 人・もの・情報が交流し、にぎわう東播磨づくり

1 交流を促す基盤と拠点を整備し、多彩なネットワークを構築

- (1) 明石港砂利揚げ場再開発の推進 [継続] [-]
- (2) 国道2号(加古川市内)の4車線整備(加古川橋架替・一方通行解除)の推進 [継続] [-]
(加古川橋の架替え(L=660m)と平野工区(L=1200m)の事業推進)



(3) 東播磨道北工区事業の推進 [継続] [-]

(全工区の工事推進(L=6.9km、うち東播磨3.9km))

2 人・もの・情報が交流し、魅力とにぎわいを創出

(1) 明石城築城400周年記念事業の推進 [継続]

[4,500千円]

(築城400年を機に、明石城の景観遺産のさらなる
魅力向上を行ない、明石城の知名度向上や東播磨
全体の観光ツーリズム拡大につなげる)

※公園緑地課と共に管



(2) 東播磨魅力再発見による交流の促進

明石城・整備イメージ

[新規・拡充] [14,965千円]

東播磨地域のツーリズム振興のため、管内の最新の観光情報を反映したツーリズムマップの作成、東播磨名物料理のSNSツール活用によるプロモーションを行なう。

(3) 高砂みなとまちづくり・堀川周辺地区活性化の支援 [継続] [10,000千円]

(歴史的建築物(松本家土蔵、増田家住宅)の改修による拠点整備の支援等)

3 豊かな農林水産業と食文化を展開

(1) 東播磨「農」のブランド化大作戦の推進 [拡充] [5,000千円]

① 東播磨産農畜水産物のブランド化推進 [拡充]

J A直売所における収穫体験との連携やスタンプカードを活用した兵庫県認証食品のPR等を支援する。

② 加古川和牛のブランド化推進 [継続]

(試食イベントや体験ツアー等による加古川和牛のブランド力強化と需要拡大)

③ 「東播磨の美味しい魚」拠点づくりの支援 [拡充]

地域販売拠点(にじいろふあへみん)の知名度向上、消費拡大に向けた情報発信等を行う。



直売所での生産者による販売

(2) 交流・体験を活かした「人」と「農」の共創力アップ事業 [新規] [3,500千円]

東播磨地域の農業への愛着や親密度を高める「人」と「農」の関係構築を図るため、交流・体験型農業推進研修会の開催や農産物直売所を拠点とした交流・体験活動等を行う。

(3) 都市農業元気アップ事業 [新規] [500千円]

持続可能な都市農業の新たな営農形態を確立するため、生産緑地及び農業体験農園等研修会の開催や先進事例の調査等を行う。

4 ものづくりの新展開と産業の活性化

(1) 東播磨ものづくり企業の魅力発信事業 [拡充] [1,316千円]

東播磨地域のものづくり産業の魅力PRと販路開拓を図るため、管内中小企業の展示会・商談会等への出展支援等を行う。

(2) 東播磨地域への就職促進 [拡充] [-]

東播磨の魅力ある中小企業等の情報を発信するため、近隣大学における企業説明会や管外等における企業説明会を開催する。

5 ふるさと意識の醸成

(1) 東はりまの魅力 KIDS 体験ツアーの実施 [拡充]

[2,305千円]

未来を担う子どもに地域への愛着と地元企業の魅力の発信を目的に、体験ツアーを実施する。



東はりまの魅力 KIDS 体験ツアー

(2) 地域でキラリ☆走る環境学習教室の開催 [拡充]

[2,313千円]

J R 加古川線を活用し、地域の子どもが加古川の自然環境や歴史について学ぶ環境学習を実施する。

(3) インフラ施設等の周遊型イベントの開催 [新規] [3,000千円]

防災意識やふるさと意識を高めるため、船上から港湾や海岸保全施設を見学するインフラツアーリーを実施する。

(4) 加古川魅力あるまちづくり推進事業への支援 [新規] [10,000千円]

「いつまでも住み続けたい ウェルネス都市 加古川」の実現を目指して、魅力あるまちづくり推進にかかる取り組みを支援する。

II 水辺との心豊かな暮らしが思い出に残る東播磨づくり

1 いなみ野ため池ミュージアムの推進

(1) 新たな地域づくりシステムの構築〔新規・拡充〕〔－〕

- ① 「東播磨フィールドステーション」の管理・運営
現地解決型の研究・交流拠点「東播磨フィールドステーション」において、新たな地域づくりシステムを構築するため、実践活動を通じた研究及び人材育成・ネットワーキングを図るため学びの場・交流の場を提供する。

② 農福連携事業の推進

農業と福祉の連携に関する調査及び連携に必要なマッチング活動を支援する。



フィールドステーションでの会議風景

(2) 水辺の地域づくりの推進〔継続〕〔9,000千円〕

- ① 「いなみ野ため池ミュージアム運営協議会」の運営支援
(「ため池協議会」の活動経費の一部を支援)



農福連携・キャベツの苗植え体验会

(3) 水辺の魅力アップ交流促進〔21,379千円〕

- ① ため池等の魅力発信推進事業〔新規〕
メダカのコタロー劇団等を活用した広報活動やため池の食材レシピの作成等を行う。
- ② 「ため池・疏水」ふるさと教育の推進〔拡充〕
中学・高校・大学において地域資源であるため池をテーマに調査研究を行うグループの活動を支援する。

(4) ため池コウノトリプロジェクトの推進〔3,800千円〕

- ① 地域活動支援助成事業〔拡充〕
地域団体が取り組むコウノトリも住みやすい環境整備やモデル的な地域活動等を支援する。
- ② Wanted コウノトリ！情報収集・発信事業〔新規〕
ホームページにおいてプロジェクトの取組や調査報告を定期的に動画等で紹介する。



田んぼビオトープでの田植え

2 人と自然が共生し、生態系を保全

(1) 地域でキラリ☆走る環境学習教室の開催〔拡充〕〔2,313千円〕（再掲）

JR加古川線を貸切電車で移動しながら、加古川流域の生き物の観察等を実施するほか、ボランティアで清掃活動をする団体へ資材を提供することによりその活動を支援する。

(2) 東播磨地域・野生鳥獣被害対策の推進〔継続〕〔220千円〕

(シカ等の有害鳥獣捕獲対策を推進、地域ぐるみの被害対策を実施)

III いきいきと暮らせる、安全安心な東播磨づくり

1 健康づくりの推進と障害者の自立支援

(1) みんなでつくって食べよう「東はりま発ヘルシーメニュー」の普及促進〔継続〕

① 東はりま発ヘルシーメニュー推進会議の運営 [2,284 千円]

(構成団体：食生活改善団体〔いずみ会・栄養士会〕、生産者、給食施設・給食会社等)

② WEB サイト “ヒガシハリマ食堂” の充実

(ヘルシーメニューの写真付きレシピ化、関連イベント等のレポート掲載)

③ 啓発媒体の作成と普及啓発

(野菜の摂取量増加、脂肪のとりすぎ注意等の健康課題別リーフレット作成)

④ 関係機関・団体による家庭への普及

(推進会議構成員や関係機関・団体と連携し、リーフレットを活用した各種講習会の開催等)

(2) チャレンジショップ「きずな」の販売力強化による障害者の自立支援〔継続〕 [212 千円]

① 共同販売の安定運営と売上げ向上の推進

(常設店舗(総合庁舎)における共同販売の実施、情報発信媒体を活用した注文販売)



Web サイト「ヒガシハリマ食堂」

② 授産製品の安定供給と品質管理、販売力の向上

(先進事例の学習、技術人材バンクを活用した事業所個別支援の実施等)

③ 企業や地域等での販売力強化

(企業・県立高校での常設販売、地域イベントでの出店等)

2 地域防災力の向上

(1) ジュニア・地域防災スクールの開催〔継続〕 [1,143 千円]

区分	集合型講座	出前講座
対象	管内の小学生、保護者 90 人	管内の小中学生、地域住民等 700 人
実施場所	明石市及び加古川市防災センター	小中学校、特別支援学校のオープンスクール、自治会・町内会等
内容	防災講義、施設見学、非常食試食、避難所体験等	防災講義、応急搬送、土のう作り、避難所体験等

(2) ため池を活用した防災機能の向上〔継続〕 [9,400 千円]

① ため池雨水貯留機能向上支援

(台風等の備えとして、洪水吐の切り欠きや緊急放流施設等の整備を支援)



② ため池保全管理省力化事業

(ため池保全管理機能の低下を防ぐため、ため池管理者の負担軽減につながる整備などを実施)

ジュニア・地域防災スクール

新 聞：平成31年2月15日（金）朝刊以降解禁
元ビ・ジ・オ・イ・カ・ヘ・ト：平成31年2月14日（木）17時以降解禁

記者発表（資料配付）				
月／日 (曜日)	担当事務所名	TEL ダイヤルイン	発表者名 (担当者名)	その他 配布先
2／13 (水)	東播磨県民局 総務企画室	(079)421-1101 内線 203 (079)421-9004	総務企画室長 平田 正教 (班長（財務担当）藤本 真治)	-
	東播磨県民局 地域振興室	(079)421-1101 内線 403 (079)421-9142	地域振興室長 住本 昌彦 (室長補佐兼班長（ものづくり産業担当） 草野 公平)	
	東播磨県民局 加古川土木事務所	(079)421-1101 内線 501 (079)421-9183	加古川土木事務所長 岩崎 日出夫 (所長補佐（企画調整担当）北川 新也)	

人・もの・情報が交流し、魅力とにぎわいを創出

平成31年の明石城築城400周年記念事業を推進するとともに、東播磨地域の観光インフラ整備やかつて港町として栄えた高砂市堀川周辺地区の活性化の支援等を通じ、地域内外の交流促進やにぎわい創出を図ります。

＜事業内容＞

1 明石城築城400周年記念事業の推進（予算額 4,500千円）

[担当：総務企画室]

明石城が平成31年に築城400周年を迎えるのを機に、県と明石市を中心に記念事業を実施し、明石城の知名度の向上、東播磨全体の観光ツーリズムの拡大を図る。

2 東播磨魅力再発見による交流の促進【新規・拡充】（予算額 14,965千円）

[担当：地域振興室]

管内の最新の観光情報を反映したツーリズムマップを作成するとともに、管内の観光地やグルメ、東播磨名物料理等をユーチューバーを活用してPRすることにより、誘客促進を図る。また、フォトコンテストを実施し、東播磨地域のあまり知られていない魅力を発掘する。

① 東播磨地域周遊ガイドマップ（仮称）の作成【新規】

加古川ギュッとメシ、工楽松右衛門旧宅や日本遺産「北前船寄港地・船主集落」への高砂市追加認定等、最新の観光情報を取り入れ、東播磨ツーリズムマップを全面更新

② 管内観光地等PR事業【新規】

管内観光地やグルメの知名度アップと販売促進を図るため、人気ユーチューバーの活用により管内の観光地やグルメ提供店舗をPR

③ 東播磨魅力発見フォトコンテストの実施〔新規〕

東播磨のあまり知られていない魅力を発掘するため、フォトコンテストを実施

④ 東播磨名物料理のPR〔新規〕

平成30年度に開発した東播磨名物料理の知名度アップと販売促進を図るため、提供店舗や地図を掲載したPRチラシ作成や人気ユーチューバーの活用によりPR

3 「高砂みなとまちづくり」・堀川周辺地区の活性化支援（予算額 10,000千円）

[担当：加古川土木事務所]

江戸時代初期から港町として栄え、北前船の寄港地として日本遺産に登録された高砂の堀川地区における、歴史的建築物を活用した拠点整備を引き続き支援する。

① 歴史的建築物（古民家等）等の整備

高砂みなとまちづくりの核となる工楽家に隣接し、舟運で栄えた面影を残す「松本家土蔵」や貴重なふすま絵が残る「増田家住宅」の改修による堀川地区活性化に向けた高砂市の取組を支援

[予算額] 54,453千円

新 聞：平成31年2月15日（金）朝刊以降解禁
 テレビ・ラジオ・インターネット：平成31年2月14日（木）17時以降解禁

記者発表（資料配付）				
月／日 (曜日)	担当事務所名	TEL ダイヤルイン	発表者名 (担当者名)	その他 配布先
2／13 (水)	東播磨県民局 加古川農林水産振興事務所	(079) 421-1101 内線 411 (079) 421-9159	加古川農林水産振興事務所長 茶谷 達人 (副所長 濵谷 幾夫)	—
		(079) 421-1101 内線 421 (079) 421-9163	加古川農業改良普及センター所長 北本 則子 (所長補佐兼地域課長 池口 直隆)	

豊かな農林水産業と食文化を展開

東播磨地域の特色ある農畜水産物（スイートコーン、加古川和牛、ヘアリーベッチ米、いなみ野メロン、トマト、キャベツ、兵庫のり等）の県内外への認知度向上や、品質向上・生産拡大対策等ブランド化を推進します。

<主な事業>

1 東播磨「農」のブランド化大作戦の推進【拡充】（予算額 5,000千円）

○東播磨産農畜水産物のブランド化推進【拡充】

J A直売所における収穫体験との連携やスタンプカードを活用した兵庫県認証食品のPR等を支援

○加古川和牛のブランド化推進

試食イベントや体験ツアー等を通じて、加古川和牛が高品質の牛肉であることをPRすることにより、ブランド力強化と需要拡大等を促進

○「東播磨の美味しい魚」拠点づくりの支援【拡充】

「にじいろふあ～みん」を地域販売拠点と位置づけ、東播磨の魚介類をイメージした大漁旗等の掲示や、旬の魚介類を季節の行事と併せて紹介するなど、消費拡大・知名度向上を促進

2 交流・体験を活かした「人」と「農」の共創力アップ事業【新規】（予算額 3,500千円）

東播磨地域の農業への愛着や親密度を高める「人」と「農」の関係構築を図り、地域農産物の生産拡大や付加価値化を目指すため、交流・体験型農業推進研修会の開催や農産物直売所を拠点とした交流・体験活動等を実施

3 都市農業元気アップ事業【新規】（予算額 500千円）

持続可能な都市農業の新たな営農形態を確立するため、生産緑地及び農業体験農園等研修会の開催や先進事例の調査等を実施

[予算額] 13,280千円

新 聞：平成31年2月15日（金）朝刊以降解禁
テレビ・ラジオ・インターネット：平成31年2月14日（木）17時以降解禁

記者発表（資料配付）				
月／日 (曜日)	担当事務所名	TEL ダイヤルイン	発表者名 (担当者名)	その他 配布先
2／13 (水)	東播磨県民局 地域振興室	(079)421-1101 内線 403 (079)421-9142	地域振興室長 住本 昌彦 (室長補佐兼班長 (ものづくり産業担当) 草野 公平	—
	東播磨県民局 加古川土木事務所	(079)421-1101 内線 501 (079)421-9183	加古川土木事務所長 岩崎 日出夫 (所長補佐 (企画調整担当) 北川 新也)	

ものづくりの新展開と産業の活性化

管内中小企業の販路開拓のための展示会・商談会等への出展支援や、高校卒業者や大学新卒者の地元企業への就職を促進するための企業説明会等の開催により、ものづくり産業の活性化を図ります。

<事業内容>

1 東播磨ものづくり企業の魅力発信事業【拡充】（予算額 1,316千円）

[担当：地域振興室]

東播磨地域のものづくり産業の魅力PRと販路開拓を支援するため、管内中小企業の展示会・商談会等への出展を支援する。

また、管内のものづくり中小企業等によって構成される東播磨ものづくり交流会の各種セミナー開催や先進取組み事例視察、近隣大学における企業説明会等の活動を支援する。

2 東播磨地域への就職促進事業【拡充】（予算額 — ）[担当：地域振興室]

人材不足の課題を抱える管内中小企業の新卒者等の人材確保を支援するため、魅力ある中小企業等の情報を大学生に発信する場として、近隣大学や地域外において企業説明会を開催する。

3 地元高校生による就職体験学習への支援（予算額 1,000千円）

[担当：加古川土木事務所]

地域に关心を持ち、地域で活躍する人材を育てるため、管内の高校生を対象に、インフラ整備や総合治水を体験する取組を実施する。

[予算額] 4,250千円

新 聞：平成31年2月15日（金）朝刊以降解禁
 テレビ・ラジオ・インターネット：平成31年2月14日（木）17時以降解禁

記者発表（資料配付）				
月／日 (曜日)	担当事務所名	T E L ダイヤルイン	発表者名 (担当者名)	その他 配布先
2／13 (水)	東播磨県民局 地域振興室	(079) 421-1101 内線 403 (079) 421-9142 内線 319 (079) 421-9130	地域振興室長 住本 昌彦 (室長補佐兼班長 (ものづくり産業担当) 草野 公平 (環境課長 石倉 洋介)	—
	東播磨県民局 加古川土木事務所	(079) 421-1101 内線 501 (079) 421-9183	加古川土木事務所長 岩崎 日出夫 (所長補佐 (企画調整担当) 北川 新也)	

ふるさと意識の醸成

進学や就職等で東播磨地域から転出した人が、将来的には地元に戻りたいと思えるようになるため、子どもの頃から、ふるさとへの愛着や地域の魅力を認識できるような取組を推進します。

<事業内容>

1 東はりまの魅力 KIDS 体験ツアー【拡充】（予算額 2,305 千円）

[担当：地域振興室]

東播磨地域の魅力を実感し、地域への愛着を深めてもらうため、小学生とその保護者を対象に、企業の製造現場の見学やものづくり体験を行うツアーを夏休み期間中に実施する。（実施回数：8 コース）

2 地域でキラリ☆走る環境学習教室の開催【拡充】（予算額 2,313 千円）

[担当：地域振興室]

J R 加古川線を貸切電車で移動しながら、加古川流域の生き物の観察や地球温暖化に関する講義などを専門家から受けることで、加古川を取り巻く地域環境そして温暖化防止など地球環境について学ぶことのできる環境学習教室を開催する。

- ・対象者： 原則、小学校 4～6 年生の親子（1 回 50 名程度）
- ・開催回数： 夏休み期間中に 3 回
- ・観察会・講義場所： 加古川河川敷（小野町駅、滝駅付近）及び列車車内

3 インフラ施設等の周遊型イベントの開催【新規】（予算額 3,000 千円）

[担当：加古川土木事務所]

地域住民に防災意識やふるさと意識を高めてもらうため、明石港から高砂間の沿岸を船で航行し、普段見ることのできない船上から港湾や海岸保全施設を見学するインフラツアーを実施する。

[予算額] 15, 305 千円

新 聞：平成31年2月15日（金）朝刊以降解禁
テレビ・ラジオ・インターネット：平成31年2月14日（木）17時以降解禁

記者発表（資料配付）				
月／日 (曜日)	担当事務所名	TEL ダイヤルイン	発表者名 (担当者名)	その他 配布先
2／13 (水)	東播磨県民局 地域振興室	(079)421-1101 内線 215 (079)421-9063	地域振興室長 住本 昌彦 (班長 (水辺地域づくり担当) 野村 純穂)	—

いなみ野ため池ミュージアムの展開

東播磨地域を象徴する「ため池群と水路網」を地域の財産として、“守り、活かし、次世代へ継承”する「いなみ野ため池ミュージアム」のさらなる展開を図り、引き続き、新たな「ため池文化」を創造し、水辺との心豊かな暮らしが思い出に残る東播磨づくりを推進します。

<事業内容>

1 新たな地域づくりシステムの構築【新規・拡充】(予算額 -)

① 東播磨フィールドステーションの管理・運営

現地解決型の研究・交流拠点「東播磨フィールドステーション」において、新たな地域づくりシステムを構築するため実践活動を通じた研究及び人材育成・ネットワーキングを図るため学びの場・交流の場を提供する。

② 農福連携事業の推進

現状としてマッチングが進んでいない農業と福祉の連携に関する調査及び連携に必要なマッチング活動を支援する。

2 水辺の地域づくりの推進(予算額 9,000千円)

① いなみ野ため池ミュージアムの展開

自ら“守り、活かし、伝える”水辺地域づくりに取り組んでいる「いなみ野ため池ミュージアム運営協議会」の活動経費の一部を支援し、次世代に継承する持続可能な地域づくり活動の展開を図る。

② 水辺資源の有効活用による交流促進

新たな交流や地域づくりをめざし、多様な主体の参画により水辺資源を活用する取組みを支援する。

里海・里山協働活動への支援、リーフレットの作成等

3 水辺の魅力アップ交流促進(予算額 21,379千円)

① ため池等の魅力発信推進事業【新規】

ため池等の役割や多面的機能、先人が造った地域の財産であることを若年層にもわかりやすく、親しみを持って伝えるため、NPO 法人メダカのコタロー劇団等を活用し

た広報活動を展開する。また、地域のため池に愛着や外来種駆除の重要性を認識してもらうきっかけづくりとして、ため池の食材レシピの作成を進める。

② 「ため池・疏水学習」の推進【拡充】

地域の小学生がため池や疏水を教材に学習し、地域の財産としての認識を高めるとともに、「ふるさと意識」の醸成につなげるため、体験型の「ため池学習、疏水学習」を推進する。

加えて、中学・高校・大学において地域資源であるため池をテーマに調査研究を行うグループに対し、ため池ふるさと継続教育の推進と、その成果を今後の施策展開に活かすこと目的に活動の支援を行う。

- ・ため池学習 10校
- ・疏水学習 12校
- ・「ため池」ふるさと教育プログラム 5校
(1年生から6年生までの6年間を継続的に教育するモデルの実施)
- ・中学・高校・大学生等による調査研究支援 3校

4 ため池コウノトリプロジェクトの推進【拡充】(予算額 3,800千円)

① 地域活動支援事業

地域団体が取り組む、コウノトリも住みやすい環境整備や地域住民への啓発活動等を支援する。

② Wanted コウノトリ！情報収集・発信事業【新規】

ホームページ等において、地域のコウノトリプロジェクトの取組や調査報告を定期的に動画等で紹介する。

[予 算 額] 34,179千円

新 聞：平成31年2月15日（金）朝刊以降解禁
ルビ・カバイタ-レト：平成31年2月14日（木）17時以降解禁

記者発表（資料配付）				
月／日 (曜日)	担当事務所名	TEL ダイヤルイン	発表者名 (担当者名)	その他 配布先
2／13 (水)	東播磨県民局 地域振興室	(079)421-1101 内線 319 (079)421-9130	地域振興室長 住本 昌彦 (環境課長 石倉 洋介)	—
	東播磨県民局 加古川農林水産振興事務所	(079)421-1101 内線 416 (079)421-9616	加古川農林水産振興事務所長 茶谷 達人 (森林課長 井上 哲)	

人と自然が共生し、生態系を保全

地域を走る環境に優しい乗り物である列車を利用し、県下最大の河川である「加古川」を取り巻く環境について学ぶことができる環境学習の開催や野生動物の被害対策に取組み、環境学習・環境保全活動を推進します。

<事業内容>

1 地域でキラリ☆走る環境学習教室の開催【拡充】（予算額 2,313千円）

[担当：地域振興室]

① 地域でキラリ☆走る環境学習教室

JR加古川線を貸切電車で移動しながら、加古川流域の生き物の観察や地球温暖化に関する講義などを専門家から受けることで、加古川を取り巻く地域環境そして温暖化防止など地球環境について学ぶことのできる環境学習教室を開催する。

- ・対象者：原則、小学校4～6年生の親子（1回50名程度）
- ・開催回数：夏休み期間中に3回
- ・観察会・講義場所：加古川河川敷（小野町駅、滝駅付近）及び列車車内

② 地域でe～coとクリーン作戦

ボランティアで清掃活動を実施する団体（NPO、自治会、学校等）へ、資材（ゴミ袋、軍手、火ばさみ）を提供することにより地域における環境美化活動を支援する。

2 東播磨地域・野生鳥獣被害対策の推進（予算額 220千円）

[担当：加古川農林水産振興事務所]

シカの目撃情報があることから、東播磨地域へのシカの生息域拡大を未然に防ぐための被害対策を推進する。

[予算額] 3,099千円

新 聞：平成31年2月15日（金）朝刊以降解禁
テレビ・ラジオ・インターネット：平成31年2月14日（木）17時以降解禁

記者発表（資料配付）				
月／日 (曜日)	担当事務所名	T E L ダイヤルイン	発表者名 (担当者名)	その他 配布先
2／13 (水)	東播磨県民局 加古川健康福祉事務所	(079)421-1101 内線 338 (079)422-0179 内線 325 (079)421-9904	加古川健康福祉事務所長 今井 雅尚 (健康参事兼健康管理課長 梅木 美鈴) (福祉室長兼福祉課長 野田 誠一)	—

健康づくりの推進と障害者の自立支援

東播磨の食生活の特色・課題を踏まえ、「東はりま発ヘルシーメニュー」の普及を進め、食を通じた健康づくりを推進します。

また、障害者授産製品を販売する「チャレンジショップきずな」の販売力強化により、障害者の自立支援を図ります。

<事業内容>

1 みんなでつくって食べよう「東はりま発ヘルシーメニュー」の普及促進

（予算額 2,284 千円）

「東はりま発ヘルシーメニュー」の普及に向け、関係機関・団体、企業等と協働し、県民運動として推進する。

○キャッチフレーズ “食で元気 食でつながる 東はりま”

① 東はりま発ヘルシーメニュー推進会議での検討（年2回）

地域の関係団体、県民等と協働し、東はりま発ヘルシーメニューをより幅広く普及・実践するための方策を検討する場として設置する。

構成員：学識経験者、食生活改善団体（いづみ会、栄養士会）、保育所等、

生産者（農業関係者）、給食施設・給食会社、市町、県民の代表 等

内 容：WE Bサイトの充実やP R方法、県民へのメニューの普及・実践推進方法等の検討 等

② 東はりま発ヘルシーメニューの普及啓発

- ・WE Bサイト“ヒガシハリマ食堂”的充実

ヘルシーメニューの写真付きレシピ化、関連イベント等のレポート掲載

③ 啓発媒体の作成と普及啓発

- ・野菜の摂取量増加、脂肪のとりすぎ注意等の健康課題別リーフレットの作成

- ・啓発媒体を、関係機関・団体等と連携してイベント等で配布

④ 県民の実践を促す具体的な取り組み

推進会議構成員や関係機関・団体と連携し、リーフレットを活用した各種講習会等の開催等により、家庭への普及を図る。

2 チャレンジショップ「きずな」の販売力強化による障害者の自立支援

(予算額 212千円)

① チャレンジショップ「きずな」定着化の仕組みづくり

授産製品の販売企画、品質向上、販路開拓、研修企画、情報発信などの官民協働の取組みを推進する。

○共同販売の安定運営と売上げ向上の推進

- ・常設店舗（総合庁舎）における共同販売の実施
- ・情報発信媒体を活用した注文販売

○授産製品の安定供給と品質管理、販売力の向上

- ・先進事例の学習、技術人材バンクを活用した事業所個別支援の実施等

② チャレンジショップ「きずな」の販売力強化

○企業や地域等での販売強化

- ・企業・県立高校での常設販売、地域イベントでの出店等

[予算額] 11,379千円

新 聞：平成31年2月15日（金）朝刊以降解禁
テレビ・ラジオ・インターネット：平成31年2月14日（木）17時以降解禁

記者発表（資料配付）				
月／日 (曜日)	担当事務所名	TEL ダイヤルイン	発表者名 (担当者名)	その他 配布先
2／13 (水)	東播磨県民局 総務企画室	(079)421-1101 内線 214 (079)421-9016	総務企画室長 平田 正教 (班長（企画防災担当） 山本 龍太郎)	—
	北播磨県民局 加古川流域土地改良事務所	(0794)82-0520 内線 27 (0794)82-9839	加古川流域土地改良事務所長 森脇 馨 (農村計画第1課長 福永 陽介)	

地域防災力の向上

阪神・淡路大震災や東日本大震災の経験と教訓を踏まえ、南海トラフ地震や風水害等の大規模災害に備えるため、将来の地域防災の担い手となる人材育成、防災・減災対策等を推進し、災害に強い地域づくりを進めます。

<事業内容>

1 次代の地域防災の担い手の育成（予算額 1,143千円）【担当：総務企画室】

① ジュニア・地域防災スクールの開催

地域の防災士、防災リーダーと協働で、集合型講座及び出前講座を実施

対象者：管内の小学生・保護者等（790名程度）

内 容：防災講義、非常食試食、避難所体験等 等

場 所：市防災センター、学校、地域の集まり等

2 ため池を活用した防災機能の向上

① ため池雨水貯留機能の向上支援（予算額 3,400千円）【担当：加古川流域土地改良事務所】

台風や局地的豪雨からの浸水被害の軽減を図るため、雨水貯留を高める洪水吐越流部の切欠き等の整備や接続水路など雨水貯留の取組を助長させる施設の簡易補修を支援

② ため池保全管理省力化支援（予算額 6,000千円）【担当：加古川流域土地改良事務所】

ため池の適切な管理における安全性を確保するための簡易な整備等を支援

- ・ため池堤体法面への草刈り用足場設置、保全管理に必要な階段や手すりの設置 等
- ・堤体草刈り省力化機械の導入支援

[予 算 額] 10,643千円